



議会だより

令和3年11月1日



秋の味覚勢ぞろい(道の駅はが)

主な内容

第5回芳賀町議会定例会

気になる議案ピックアップ	2~3
9月定例会の概要・議案一覧	4~9
一般質問	10~13
ちょこっとまめ知識	14
私のいいたいこと	15
10月臨時会・議会クイズ・編集室	16

議会ホームページは
こちらから



芳賀町議会

検索

令和3年第5回芳賀町議会定例会

9月2日から14日までの13日間の会期で開かれました。初日の9月2日は、全議案を上程し、町長から提出された議案の提案理由の説明、報告、監査委員から決算審査の報告を受け、承認案、同意案を可決しました。

9月6日は一般質問を行い、9月7日は令和2年度決算を除く議案の質疑・討論・採決を行いました。また、9月8日は令和2年度の決算についての質疑を行った後、決算審査を常任委員会に付託し、9月10日まで決算審査を行いました。最終日の9月14日には、令和2年度決算を原案どおり認定し、発議案を可決し閉会しました。

人権擁護委員を推薦



おおつか たか ゆき 大塚 隆之氏
つなかわ こ 綱川みね子氏

令和3年12月31日に任期満了となる大塚隆之氏(稲毛田)、綱川みね子氏(東高橋)を引き続き最適者として法務大臣に推薦することを議員全員が同意しました。

芳賀町教育委員会委員を選任



やまぐち ともや 山口 友也氏

令和3年10月31日に任期満了となる小林浩行氏の後任として山口友也氏(西水沼)を最適者として選任することを議員全員が同意しました。

〈ちょこっとQ&A〉



教育委員会とは?

教育委員会は教育長及び教育委員で組織され、合議制により教育行政における重要事項や基本方針を決定しています。委員の人数は4人で任期は4年です。

人権擁護委員とは?

毎月定例の人権相談のほか、人権尊重の考えを広めるために小中学校での人権教室や街頭での啓発活動など各種人権活動を行います。委員の人数は5人で任期は3年です。

財産の取得

LRTの軌道に用いる T型レール(50N)に3,251万6千円

契約相手方 東京都千代田区大手町7番1号
JFE商事鉄鋼建材株式会社

T型レールとは?

T型レールは、日本の在来鉄道(JRなど)において一般に使用されているレールで、レールの断面がアルファベットのTを逆さにした形状に見えることから、T型レールと呼ばれています。

レールは、通常1m当りの重量で種類が異なり、日本で一般に用いられているものは30kgから60kgまでがあり、JIS規格にも定められています。

芳賀・宇都宮LRT事業においては、車両重量、運行頻度などから、在来鉄道で広く用いられている50kgNレールを採用しています。



都市計画課担当



▲売買契約をしたT型レール



▲樹脂固定軌道の整備イメージ(清原工業団地内)

新型コロナウイルス感染症対策個人事業主等の 支援費追加で1,250万円 道の駅はが(ロマンの湯・友遊はが) 整備に2,219万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内の個人事業主等の経営支援のため、売上向上のための投資支援費を補正しました。

25年が経過するロマンの湯と17年が経過する友遊はがの施設設備の更新のための設計業務と第1号源泉ポンプ交換の修繕費を補正しました。

長期化している新型コロナウイルス感染症の影響は、多方面に暗い影を落としています。町内でも廃業してしまった事業所が見られません。道の駅はがでも様々な経営改善策を行い対応しています。LRT開業に向けて多くの来場者を迎え入れる準備のために老朽化した施設設備のリニューアルを進めていきます。



商工観光課担当



▲ポンプ交換を行う第1号源泉

新型コロナウイルス感染症 対策として 町民会館内改修工事に781万円

新型コロナウイルス感染症対策として、館内トイレの一部洋式化設計業務及び工事費、館内手洗器の自動水栓器具の購入、楽屋空調設備の更新を行うため補正しました。



▲自動になる手洗い

▲和式トイレから洋式トイレへ

今回の改修工事のポイントは?

文化庁補助金(文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業)の支援を受けています。今回は、館内トイレ4箇所洋式化(男2女2)し、温水洗浄便座(シャワートイレ)、館内の手洗器が自動水栓になり、蛇口に触らず手を洗えるようにし、衛生的・節水になります。また、楽屋空調設備は老朽化により故障を繰り返していましたが、更新され安定的な稼働となります。

前年度に同補助金の支援を受け、多目的室・研修室・リハーサル室・和室の空調設備を更新し、空気清浄機11台を購入しています。



生涯学習課担当

決算審査 監査委員意見



▲樋田貞夫代表監査委員



▲小林一男監査委員

本町の財政は、令和2年度も健全に運営されており、各種事業等歳出についても、計数的な過誤もなく適切で誠実な執行が行われていると認識いたしました。

また、令和2年度は第6次芳賀町振興計画の中期基本計画1年目と第2期芳賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略における、重点施策について事業内容等を確認した結果、概ね計画どおり良好に執行されておりました。

本町の令和2年度単年度財政力指数は1.049、健全化判断比率におきましては、実質公債費比率1.8%、その他の判断比率は該当なし。資金不足比率も該当はありません。なお、一般会計自主財源比率は50.5%です。

財政の根幹をなす町税については、新型コロナウイルス感染症による世界的な経済低迷の影響を受け工業団地立地企業の業績低下と法人町民税の税制改正により、昨年度に比べて約2億219万円の多額の減収となり、46億6,512万円・対前年比4.2%の減となりました。

一方、借入金である地方債の残高は、一般会計と2つの特別会計（農業集落排水・公共下水道）を合わせて約49億7,785万円です。特別会計は年々計画的な減少が見られておりますが、LRT整備事業の進展に伴い一般会計の地方債が増額したため町債が増えております。LRT沿線では整備進展により開業への期待の高まりから新規不動産投資が盛んになり、路線価格の値上がりも見られています。今後も健全財政を堅持された町政経営を進めて頂きたいと思っております。

令和2年度も普通交付税の不交付団体になりましたが、LRT整備事業計画の見直しによる影響や、芳賀第2工業団地造成・土地改良事業等の進行などによって、今後も歳出の増加が続くと思われるとともに、新型コロナウイルス感染症により、長期の経済的な景気低迷が憂慮されます。引き続き町税収入をはじめとする歳入の確保に最大限努めて、長期的な視点に立った財政運営を図っていただくとともに、人口減少化時代において定住人口の増加と不動産価値を高めた、魅力あふれる住宅地が形成された成功事例の『祖陽が丘』に倣って、活気あふれるまちづくりに邁進されるよう望みます。



▲現地調査（稲毛田地区ほ場）



▲書類審査（商工観光課）

令和2年度末の町債(借入金)と基金(貯金)の状況(一般会計分)

※令和3年度4月1日の人口15,577人で算出。
千円未満は四捨五入。

町債残高
26億2,240万1千円
町民一人あたり
約16万8千円



基金残高
28億6,431万4千円
町民一人あたり
約18万4千円



わかりやすく！ 芳賀町のお金

令和2年度 一般会計決算

入ってきたお金
126億4,109万円

使ったお金
118億4,824万円

一般会計とは・・・町の運営をする基本的なお金

町の力で得たお金



皆さまから税金として集めたお金

施設使用料や寄付金など
その他から入ってくるお金

基金などから入ってくるお金

去年の残ったお金

国や県からもらう
使い道が決められたお金

国や銀行から借りたお金

交付金などその他から入ってくるお金

国や県から入るお金

借金

その他



LRT整備や道路の修理、
市街化整備など工事に
使うお金

高齢者や障がい者、
児童福祉のために使うお金

町の行政全体の事務、
職員の給与などに使うお金

教育に関する経費に使うお金
(小・中学校、生涯学習等)

農林業の振興、
農、林道の整備などに使うお金

検診費などに使うお金

災害対策などに使うお金

商工業や観光の振興などに使うお金

借金を返すお金

議会運営などに使うお金

その他使うお金

翌年度に繰り越して使うお金(繰越明許費)

3億5,563万円

※札束の比率はおおまかなもので正確なものではありません。

令和2年度 特別会計決算

芳賀町は7つの
事業で分かれています。



特別会計とは・・・特定の事業を個別で行うために会計が別々になっているお金

国民健康保険 歳入：18億7,714万円 歳出：18億 538万円	後期高齢者医療 歳入：1億7,910万円 歳出：1億7,474万円	介護保険 (保険事業勘定) 歳入：15億4,486万円 歳出：14億 431万円	介護保険 (介護サービス事業勘定) 歳入：656万円 歳出：303万円
芳賀工業団地 排水処理センター 歳入：5,761万円 歳出：5,163万円	公共下水道事業 歳入：2億8,629万円 歳出：2億7,914万円	農業集落排水事業 歳入：1億7,569万円 歳出：1億7,025万円	宅地造成事業 歳入：3億6,526万円 歳出：3億4,842万円

一般会計と特別会計の使わなかったお金6億9,283万円は翌年度に繰り越します。

気になる議案ピックアップ

議 9月定例会の概要
案 一一般質問

一 一般質問

ちよこつとまめ知識

私のいいこと

常任委員会決算審査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は9月8日から9月10日まで、令和2年度一般会計及び特別会計決算の書類審査と現地調査を行いました。

各委員会は、9月14日の本会議において意見を付して決算を認定しました。

認定

総務 常任委員会

委員長 岡田 年弘
副委員長 山口 菊一郎
委員 大根田 弘
委員 小林 俊夫



▲書類審査(総務課)

付託内容 一般会計中、他の常任委員会の所属に属さないすべての歳入歳出
書類審査(9月9日) 総務課、企画課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員事務局
現地調査(9月10日) 役場屋上、消防センター(2-2)、旧芳志戸小学校

主な審査の内容

町内各自主防災組織にコロナ対策セットを配布 520万円

町総合防災訓練において、消毒液、検温計、段ボールパーティション等を各自主防災組織に配布しました。



▲旧芳志戸小学校にある備蓄品を現地調査



▲配布したダンボールパーティション

消防センター改修工事 759万円

2-1(下高根沢南部)、2-2(下高根沢北部)の2か所の改修工事を行いました。平成28年度から計画的に実施し、令和3年度で町内全ての消防センターの改修が完了する見込みです。



▲改修工事が完了した2-2の現地調査



▲改修工事が完了した2-1

教育民生 常任委員会

委員長 石川 保
副委員長 中村 由美子
委員 小林 隆志
委員 岩村 治雄
委員 大根田 周平



▲書類審査(健康福祉課)

付託内容

一般会計中、教育民生常任委員会の所管に属する歳入歳出
国民健康保険特別会計歳入歳出
後期高齢者医療特別会計歳入歳出
介護保険特別会計歳入歳出

書類審査(9月8日、9日) 住民課、環境対策課、健康福祉課、子育て支援課、学校教育課、生涯学習課
現地調査(9月10日) 芳賀南小学校、芳賀東小学校、給部(大規模森林伐採地)

主な審査の内容

学校ICT推進費 1億5,841万円

令和2年度は、国の「GIGAスクール構想」の実現に向けて、町内小中学校の全児童生徒用と予備機を含め1,300台の学習用タブレット端末を購入しました。また、教室の通信環境整備のためのネットワーク工事や電子黒板65台を整備しました。

また、教職員向けの研修会やICTを使った授業の支援を行いました。



▲ICTを使用した授業の現地調査(芳賀南小)



▲学校で使用しているタブレット端末

- 問** タブレットを児童生徒1人1台配備したが、授業はどのように進めているのか。
答 電子黒板とタブレットを使いながら、授業を行っています。教師用デジタル教科書は全教科使用しています。
問 電子黒板はパソコンと繋がっているのか。
答 パソコンやタブレットの画像を電子黒板に映すことができます。電子黒板は全普通教室に設置されており、ほとんどの授業で使っています。
問 社会科などでは効果が高いと言われているが。
答 社会科では、行ったことがない世界の建物や風景などを見ることができるので、子ども達は非常に興味を示しています。

保健センター空調機設置工事 820万円

2階の検診ホールと保健指導室等の空調機を新しくしました。



▲新しくなった空調機(保健指導室)

産業建設 常任委員会

委員長 江間田 信一
副委員長 有坂 隆志
委員 小林 信二
委員 小林 一男
委員 北條 勲



▲書類審査(商工観光課)

付託内容

一般会計中、産業建設常任委員会の所管に属する歳入歳出
芳賀工業団地排水処理センター特別会計歳入歳出
公共下水道事業特別会計歳入歳出
農業集落排水事業特別会計歳入歳出
宅地造成事業特別会計歳入歳出

書類審査(9月9日)

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

現地調査

祖母井中央地区導水路築造工事、稲毛田ほ場整備地内、
三日市芳賀第2工業団地線、第2工業団地整備状況、工業団地管理センター、
工業団地排水処理センター、前久保後久保線

主な審査の内容

稲毛田地区ほ場整備事業 2,000万円

この事業は、稲毛田地区ほ場21.5ヘクタールの区画や農道を整備するものです。令和2年度の施工は主に梨団地エリアになる東側9.6ヘクタールを実施しました。残りの主に露地野菜エリアになる部分は令和3年度に実施しています。



▲現地調査の様子



▲上空から見た稲毛田地区ほ場

まえくぼうしろくぼ

前久保後久保線道路改良工事 2,783万円

この路線は、東水沼から芳賀工業団地へ通じる道路のため交通量が多く、一部区間が狭小で通行しづらいため、現道を拡幅し2車線化する工事を行いました。今後、第2工業団地が造成されればさらに交通量が増えると予想されるため、この整備により渋滞緩和が期待されます。



▲現地調査の様子

地籍調査事業(給部地区) 2,475万円

町では、平成24年度から地籍調査を行っています。地籍調査とは、土地に関する戸籍調査ともいわれており、土地の所有者・地番・地目・境界・面積について、一筆ごとに調査や測量を行います。

令和2年度は、新規2地区(給部1、2地区)1.2km²の基準点設置と一筆地の境界確認を実施しました。



▲実施箇所図

令和3年第5回定例会議案一覧

気になる議案ピックアップ

9月定例会の概要
議案一覧

一般質問

ちよこつとまめ知識

私のいいこと

上程された議案・概要		賛成：○ 反対：×													議決結果		
※小林俊夫議員は議長のため採決には加わりません。		中村由美子	有坂隆志	江間田信一	山口菊一郎	岡田年弘	大根田周平	大根田弘	北條勲	小林一男	石川保	岩村治雄	小林隆志	小林信二		小林俊夫	
		採決結果															
同意																	
同意案第2号	芳賀町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案同意
同意案第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案同意
同意案第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案同意
承認																	
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(芳賀町手数料条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度芳賀町一般会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案承認
報告																	
報告第5号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告
報告第6号	公益財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明書の提出について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告
報告第7号	芳賀町ロマン開発株式会社の経営状況説明書の提出について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告
報告第8号	令和2年度健全化判断比率及び資金不足比率について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告
認定																	
認定第1号	令和2年度芳賀町一般会計、芳賀町国民健康保険特別会計、芳賀町後期高齢者医療特別会計、芳賀町介護保険特別会計、芳賀町工業団地排水処理センター特別会計、芳賀町公共下水道事業特別会計、芳賀町農業集落排水事業特別会計及び芳賀町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案認定
条例改正																	
議案第45号	芳賀町情報公開及び個人情報保護に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案可決
議案第46号	芳賀町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案可決
議案第47号	芳賀町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案可決
議案第48号	芳賀町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案可決
変更																	
議案第49号	芳賀町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案可決
議案第50号	字の区域の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案可決
財産の取得																	
議案第51号	財産の取得について(T型レール(50N)の購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案可決
議案第52号	財産の取得について(芳賀中学校調理室備品の購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案可決
補正予算																	
議案第53号	令和3年度芳賀町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案可決
議案第54号	令和3年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	原案可決

要望

令和3年9月定例会において、総務常任委員会に付託され、9月14日の本会議に上程し、議員全員で可決しました。要望は意見書として、衆参両議長と関係大臣にそれぞれ送付しました。

要望名 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書の提出について

要望者 全国町村議会議長会

一般質問

町政を問う!

第5日目に一般質問が行われ、3人の議員が町政について質問しました。



大根田 周平議員 (11ページ)

① 長期財政計画について



有坂 隆志議員 (12ページ)

① LRTを利用した今後の取り組みについて



中村 由美子議員 (13ページ)

① 再生可能エネルギー発電施設について

次回の定例会は
11月30日からの予定です。

ただ今、多人数の傍聴受け入れは自粛
させていただいております。
議会は、はがチャンネルでも放送します。

放送時間

会議当日 午後8時から
再放送 翌日の午後2時から



一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の
行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、
所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受
ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、
通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以
内とされています。

大根田周平が問う 長期財政計画を公表しては



問 芳賀町は8年ぶりに地方交付税の不交付団体から交付団体に転じたとのことですが主な要因は何か。

答 町長 財政力指数は単年度で0.995と1.0をわずかに下回り、交付団体となりました。その要因としては税制改正により町民税の法人税割が引き下げられたことと景気の動向に伴う法人所得の減少が大きな要因となっています。

問 今後、安定的に歳入増加が見込める税目について伺う。

答 町長 固定資産税については収入額が多く、景気動向などに比較的左右されない税目で安定的な税収が見込めます。また、償却資産分についても安定して推移していることから、企業などにおける設備投資が継続的に行われていると判断しています。今後は、食肉センターや祖陽が丘住宅団地の分譲効果も含め、芳賀第2工業団地の立地に伴い、令和5年度以降、固定資産税を中心に町税収入全体として緩やかな増加傾向になると見込んでいます。

問 芳賀第2工業団地から今後、どれくらいの税収が見込めるのか。

答 商工観光課長 当初の予定通り令和5年から一部の企業が操業を開始すると仮定して、1億円から1億5千万円くらい見込まれます。



▲急ピッチで造成工事が進む芳賀第2工業団地

問 LRT整備事業は当初予算から大幅に増額されたが開業までの全体事業費と、国・県の補助金を除いて町が実際に負担する金額はいくらか。

答 町長 LRT整備にかかる事業費は約96億円を見込んでいます。そのうち、町の実質負担は約44億円と推計しています。償還時における交付税措置として約8億円が見込まれ、最終的な町の実質負担額は約36億円となり、全体事業費の38%程度となる見込みです。

問 長期財政計画を町民の皆様に公表し、安全・安心だということを示すことが重要と思うが町長の考えは。

答 町長 第6次振興計画は12年間の計画期間の中盤を迎えますが、随時見直しを行い、将来像の実現のために各事業を積極的に展開しているところです。今後は、高齢者福祉や教育、子育てなどに関する経常経費の増加が見込まれます。また、※デジタルトランスフォーメーションを始めとするデジタル社会への対応も求められます。これらにしっかりと対応しながら財政状況と見直しにつきまして、広報誌や芳賀チャンネルなどで丁寧の説明し、町民の皆さまの理解を得ていきたいと考えています。

問 長期財政計画を公表する際、重点事業、町税収入の推移、プライマリーバランス、公債費負担率、財政調整基金の目標などを具体的に示すべきでは。

答 企画課長 質問の5項目については、いずれの指標も財政の見通し、現在の財政状況を判断する際の重要な指標ですので、適時示すよう努めます。

※デジタルトランスフォーメーションとは…デジタル技術によって、人々の生活をよりよいものに変革すること



有坂隆志が問う

LRTを利用した今後の 取り組みについて

問 LRTを基軸としたバス路線やデマンド交通などでの新たな交通システムを確立するため、各地区住民を交えた検討組織を立ち上げて早急に町民に考えを示すべきと考えるがいかがか。

また、トランジットセンターは単なる乗り換え拠点でなく、賑わいを創設する様々な機能を備えた施設として整備すべきではないか。

答 町長 新たな交通システムを実現するため、バス路線の再編など広域連携軸の形成と身近なデマンド交通のサービス向上など、地域公共交通のさらなる充実強化が必要と考えています。町民の皆さんに公共交通の将来と具体的な利用方法等が早期にお示しできるように、町総合交通戦略会議等の意見を受けて取り組みます。

トランジットセンター周辺は工業専用地域の用途制限で住民サービス提供設備の新たな整備が制限されているため、現管理センターの北棟の施設を改修し、新たに町を訪れる方々にデジタル技術を活用した映像などで町の魅力を発信する観光案内所を設け、町PRの活動拠点と位置付けて運用するとともに、レンタサイクル等による二次交通の整備を検討します。



▲トランジットセンター予定地付近

問 トランジットセンターを単なる結節点としてとらえるのではなく、15,000人見込まれる乗降客を町の中に取り入れる方策を考え、LRT効果を最大限に発揮するべきではないか。

答 町長 トランジットセンターの位置は町の西端にあるため、多機能施設としての効果的な資本投資は町の中心地の祖母井地区で行いたいと考えます。いまだ構想の段階ですが、現在、県が整備中の遊水地を借用して観光資源とし、道の駅と連携した回遊ゾーンとしての観光客誘致方策を計画しています。

問 デマンド交通は現在、芳賀日赤送迎専用の1台を除く3台で町内を運行しているが、LRT開通後の需要増加によって町民に不便の生じることが心配されております。今後のデマンド交通網の確立計画について伺う。

答 建設産業部長 トランジットセンターに来訪する観光客を対象として、ロマンの湯が所有する温泉バスの活用方策を現在協議中であり、町民用のデマンド交通と観光客用の温泉バスを運用するに当たりましては、LRT開通後の人の流れを踏まえて、町民の方々に不便が生じることがないように利便性の向上に努めていきます。



▲町内を走るデマンド交通

中村由美子が問う 町の再生可能エネルギー 発電施設の考えは



問 町内の太陽光発電施設の把握と状況は？

答 町長 県の指導指針により、出力50kw以上の施設は事前相談によって把握してきました。また、森林法による届出や農地法による許認可、課税の為の現地調査等により確認しています。現在、太陽光設置面積は42.8haで、町全体面積の0.6%となっています。

問 安全面を踏まえ詳細まで把握しているか？

答 環境対策課長 令和3年3月現在、20kw～50kw未満が245件、50kw以上が16件です。10kw程度はほとんどが屋根に設置したもので、それ以外は地上に設置しており、課税対象で地目別には、田畑が0.5ha、宅地が15ha、山林が19haとなり、平地が多く、急傾斜地等への設置は見られない状況です。

問 斜面設置の危険性や景観、地域の生活環境の維持、災害を未然に防ぐなど、現在の町の対応は？

答 町長 県の太陽光発電施設に係る安全パトロール実施要項に基づき災害の未然防止等に努めているところです。景観の保全・生活環境の保持・災害未然防止の観点からも、50kw未満についても事業者と協議できる体制づくりをしていく必要があると認識しています。

問 先日、熱海で土石流災害があったが、町の現状と対応は？

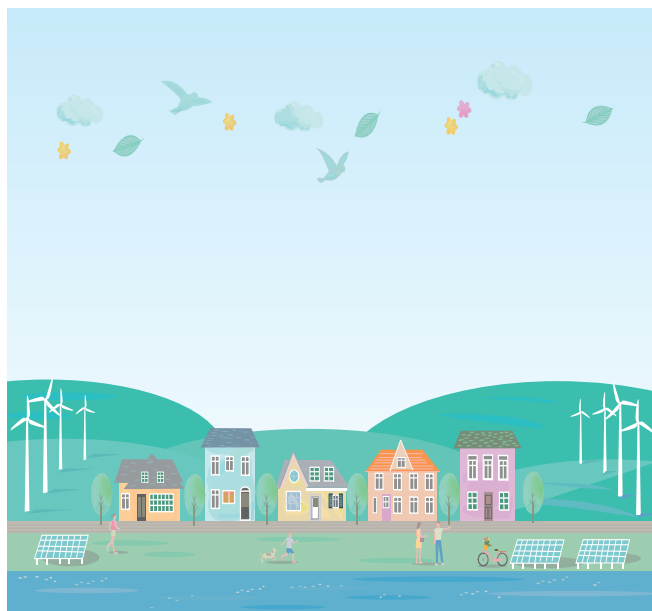
答 環境対策課長 広範囲での太陽光設置であれば、土地の形状や雨水排水の対応等を、国や県の基準や法令等に基づき指導助言を行います。盛り土は、適正な土砂の搬入をしているか、不法投棄防止を目的として防犯カメラを設置し、監視を行っている所もあります。また、定期的に巡回し、県と連絡を密に連携を行っているところです。

問 町の条例等の制定が必要ではないか？

答 環境対策課長 現在、景観・土地利用・防災等の各分野で問題点を収集し整理している段階です。条例の整備について十分に検討したいと考えています。

問 今後、再生可能エネルギーの考えは？

答 町長 日常生活や事業活動において省エネを進め、再生エネルギーの活用、効率良く環境負荷の少ない公共施設の整備等、環境に優しいエネルギー利用を進めるまちづくりを目指します。また、2050年までにカーボンニュートラル温室効果ガス排出実質ゼロを目指し、県と歩調を合わせて脱炭素社会に向けた取組を実施していきます。



●最後に、環境省では地域単位で電力消費に伴う温暖化ガス排出実質ゼロを目指す自治体を支援する最大75%の交付金を設ける予定です。クリーンエネルギー推奨の芳賀町となるよう、先を見越した事業を希望しました。

ちょこっと まめ知識

わかっていそうでわかっていない
議会のことを説明します。
今回は、定例会・臨時会、
決算認定編です。



定例会・臨時会とは



定例会って何なの？

定例会は定期的に行われる
(招集される)議会のことだよ。



はがまる



芳賀町ではいつ定例会が
行われるの？

芳賀町では条例で年4回
開催することになっていて、
規則で3月、6月、9月、12月に
定例会が行われるよう決まっ
ているよ。
栃木県内の各市町で定例会が
行われる回数も違うよ。



はがまる



そうなんだ、各市町でも回数は
違うのね。ところで、臨時会も
あるけど、どういう時に行うの？

定例会とは別の時期に、
早急に議会の議決が必要な案件が
ある時に行うのが臨時会なんだ。
臨時会は回数に制限がなく
行うことができるんだ。



はがまる



そうなのね。覚えておくれ。

なし子

決算認定とは



決算認定って何？

議会が決定した予算がちゃんと
執行されたかどうか前年度の
決算内容についてを審査して、
行政効果や経済効果を測定し、
住民に代わって評価することだよ。



はがまる



決算したものを認定しても
執行済みだし、意味があるの？

行政効果を客観的に判断して、
良好な内容は継続し、
改善が必要な内容は今後に向けて
改善点をまとめて活用していくよ。



はがまる



認定したらその後は？

決算は認定して終わりではなくて、
その結果を町の財政運営の一層の
健全化と適正化、今後の町の将来に
役立てるとのことだね。



はがまる



そうなのね。
決算認定は将来に向けての
前向きな役割なのね。

なし子

こえ
聲

私のいいこと



平野 紗代さん
(下延生)

行政区の資源物回収

私の地区では、資源物を集めて、それを行政区の活動資金の一部にしています。地区の中には反対の方もいたようですが、行政区全体の補助金としています。以前と違い、新聞を取る家が減り、ペットボトルが多く回収業者からのお金は期待できなくなりました。しかし、芳賀町には手厚い補助金の制度があるので、続けられているのだと思います。

ペットボトルも空き缶も紙類も、再利用されることは環境にも良いことです。プラごみの分別回収もそうですが、少しずつでもできることをして、持続可能な社会(SDGs)をと思います。

生活と地域と環境がシンクロするような、このような仕組みがたくさんできれば、おもしろい町になるのではないかと思います。

町の方向性を考える



廣木 晋市さん
(給部)

私は、『田舎＝自然を生かした観光産業』というスキームには賛成しません。それ自体が先見性の高いビジネスモデルでもありません。地理的特性を考えるなら最良はベッドタウン化だと思います。生活に大切な安全は街灯、カメラの設置などをすすめ、町民へのホスピタリティ(サービス)では、民間の活力を上手く活かし、町の休眠資産(一部しか使われてない集会所や旧学校跡地も含め)を商いの場として最大限提供する。適材適所、民間企業と町政のマッチングをうまく活かせば、財政のスリム化も十分見込めます。同時に、次世代産業への誘致を積極的に行っていくのも必須と考えます。それにより、カリフォルニア州のシリコンバレーのような未来も見えるかもしれません。

最後に、町政では『前例がないから却下』なんて壁はつくらぬようお願いします(笑)

地域と共に生きる



細野 ミ子さん
(東水沼)

芳賀町はふれあいタクシーがあり、子どもたちの勧めで自動車免許を返納いたしました。自由に行動できたのが出来なくなり、一気に年を取ったような気がします。その時、子ども会の親子さんと一緒に地域の行事に参加しました。それは花とサツマイモの植栽でした。久しぶりに子たちと触れ合い、疲れも忘れるほど楽しいひと時でした。それからというもの植栽地の花や草が気になり近所の友人と散歩がてら水やりや草むしりを行っていたところ「お疲れさん、おかげさまで花も元気に喜んでますよ。」と自治会長さんが声をかけてくださいました。それから数日後、植栽地に行ってみると私たちが疲れて縁石に腰かけていたのを知ってかベンチが置いてありました。そっと置かれていたベンチに大きな優しさ、自治会長さんの気遣いを実感いたしました。

芳賀町全体が思いやりに溢れる町になることを願っています。

令和3年第6回芳賀町議会臨時会を 10月11日に開催しました。

令和3年度芳賀町一般会計補正予算(第5号)

総額に海洋センターの天井改修工事等1億4,631万3千円を追加し、予算総額を113億6,145万4千円とするもの。また、海洋センター天井改修の完成が令和4年6月末になる見込みのため、事業費の繰越しと国の地域レジリエンス自立分散型エネルギー設備等導入事業を活用し実施する温泉センター、友遊はが、生涯学習センター水橋分館の債務負担行為の補正をするもの。

質疑 中村由美子議員、北條勲議員、小林一男議員、石川保議員、山口菊一郎議員
(討論なし、原案可決)



今月の 表紙



今回は「道の駅はが」に行ってきました。秋ならではの野菜やきのこなどを求め、お客さんがひっきりなしに訪れていました。

「はがジェラート」では季節を感じられるたくさんのジェラートが並んでいます。マロンは風味豊かに後味さっぱり、カボチャは濃厚な味わいでした。梨ミルクもおいしそうでしたよ。

是非秋の味覚を感じに道の駅はがに行ってみてはいかがでしょうか。



編集室



新型コロナワクチン接種など、お忙しい中、議会だよりにご投稿、ご意見をお寄せいただきましてありがとうございます。

芳賀町もほとんどの行事が中止され、議員活動も制限されている状態です。そのような中、皆さまの投稿写真がたいへん心温まるものであり、編集委員一同感激しました。今後とも議会だよりのご愛読と忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

(委員 有坂隆志)



はがまち

議会クイズ



正解者の中から抽選で3名の方に粗品を進呈します。

問1

LRTの軌道に用いる今回購入したレールは何型レールでしょうか。

- ①L型レール ②R型レール ③T型レール

問2

学校ICT推進費で購入した学校用タブレット端末は何台でしょうか。

- ①130台 ②1,300台 ③13,000台

応募方法：はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、議会へのご意見を書いて下記までお送りください。(FAX可)

あて先：321-3392
芳賀町大字祖母井1020
芳賀町議会事務局 議会だより係
(FAX) 677-6057

締め切り：令和3年11月30日(火) 必着
※答えは次号で発表します。

当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

今回はLRTタオル、はがまるくんメモ帳、温泉の素をセットにしました。たくさんのご応募をお待ちしております。



183号答え 問1：③議員・議決権 問2：②1,210万円
たくさんのご応募ありがとうございました。



▲台風一過 秋晴れの運動会(のぶ幼稚園)